

アムンディ・アラブ株式ファンド

追加型投信／海外／株式

第 31 期

(決算日 2023年10月16日)

作成対象期間 (2023年4月18日～2023年10月16日)

第 31 期末 (2023年10月16日)	
基準価額	15,516円
純資産総額	2,661百万円
第 31 期	
騰落率	8.6%
分配金 (税込み)	0円

(注) 騰落率は分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

●受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

当ファンドはこの度、上記の決算を行いました。

当ファンドは、「Amundi Funds エクイティ MENA」への投資を通じて、主として中東・北アフリカ諸国で事業展開を行う企業（中東・北アフリカ諸国の企業を含みます。）の株式等へ分散投資を行い、投資信託財産の中長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。なお、「Amundi Funds キャッシュ・USD」への投資も行います。原則として実質的に組み入れる外貨建資産の為替ヘッジは行いません。

当作成対象期間につきましてもそれに沿った運用を行いました。

ここに運用状況についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

アムンディ・ジャパン株式会社

〒105-0021 東京都港区東新橋1丁目9番2号

<お問い合わせ先>

お客様サポートライン：050-4561-2500

受付は委託会社の営業日の午前9時から午後5時まで

ホームページアドレス：<https://www.amundi.co.jp/>

< 3193946・3219901 >

- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。

【閲覧方法】

右記<お問い合わせ先>に記載されているホームページアドレスにアクセス⇒「ファンド情報」メニューから「ファンド・基準価額一覧」(当ファンドが償還した場合は「償還ファンド一覧」)をクリック⇒当該一覧から当ファンドのファンド名称をクリック⇒運用報告書(全体版)をクリック

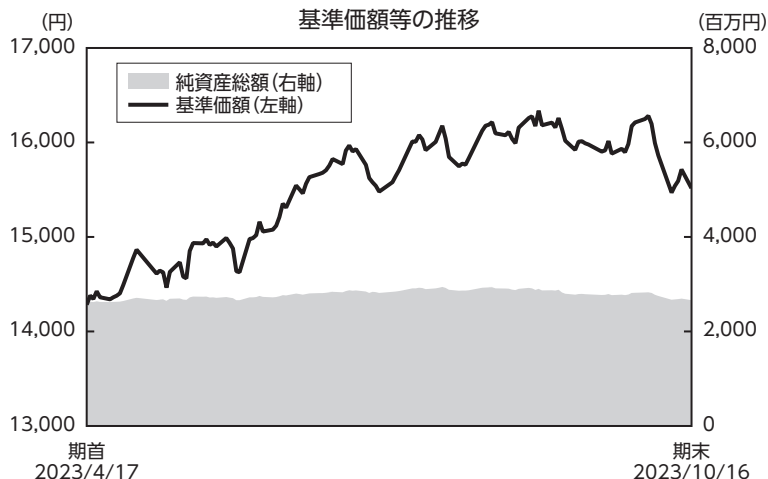
- 運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

運用経過

基準価額等の推移

第31期首	14,283円
第31期末	15,516円
既払分配金 (税込み)	0円
騰落率	8.6%

当ファンドは運用成果の目標基準となるベンチマークを設けておりません。また、当ファンドと適切に対比できる参考指数はありません。



基準価額の主な変動要因

上昇要因

- ① 期半ば、株式市場が上昇したこと
- ② 期半ばから後半にかけて、原油価格が上昇したこと
- ③ 期を通じておおむね、米ドル高・円安が進行したこと

下落要因

- ① 期後半、株式市場が下落傾向となったこと
- ② 期前半と期末にかけて、原油価格が下落傾向となったこと
- ③ 期半ば頃に、米ドル安・円高傾向となったこと

1 万口当たりの費用明細

項 目	第 31 期 (2023年4月18日 ～2023年10月16日)		項 目 の 概 要
	金額	比率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	97円 (26) (68) (3)	0.624% (0.164) (0.438) (0.022)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (印 刷 費 用) (そ の 他)	4 (0) (1) (3) (0)	0.029 (0.001) (0.005) (0.022) (0.000)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ファンドの法定開示資料の印刷に係る費用 信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	101	0.653	

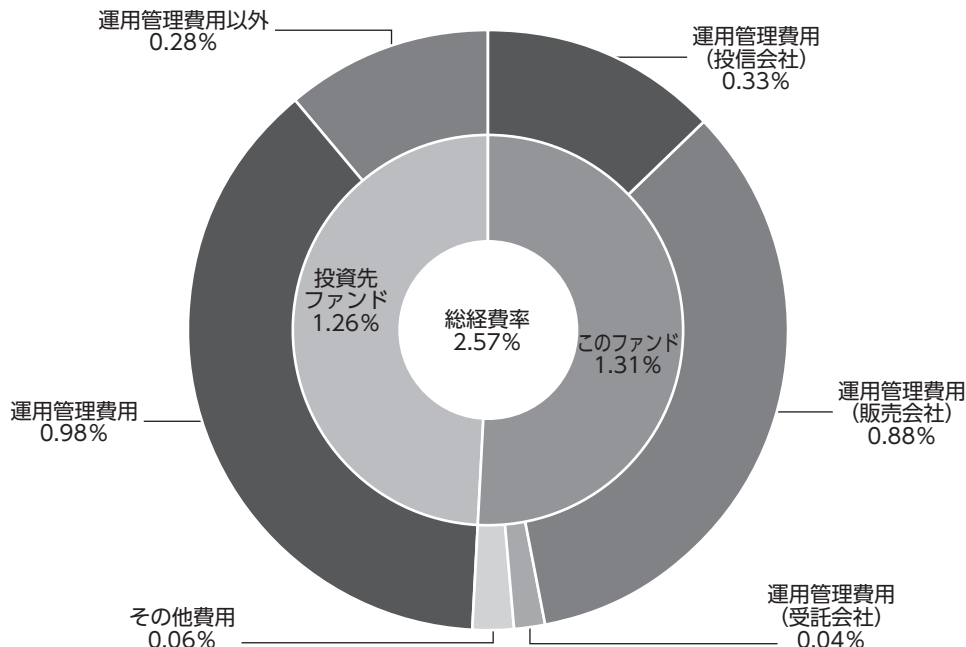
期中の平均基準価額は15,624円です。

- (注1) 費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。
(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。
(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

●総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.57%です。



総経費率 (①+②+③)	2.57%
①このファンドの費用の比率	1.31%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.98%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.28%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

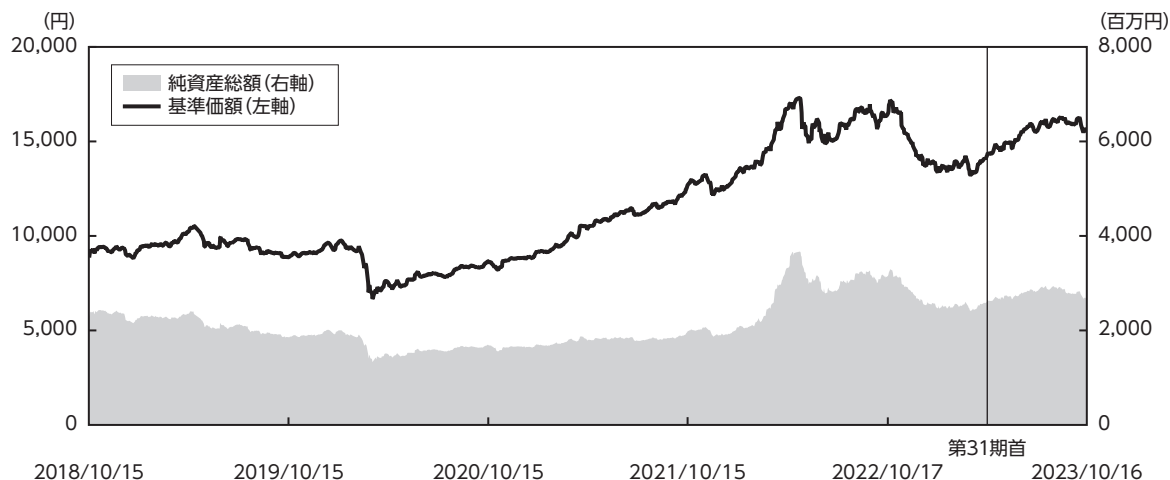
(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。

(注5) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注6) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2018年10月15日～2023年10月16日)



最近5年間の年間騰落率

	2018/10/15 期首	2019/10/15 決算日	2020/10/15 決算日	2021/10/15 決算日	2022/10/17 決算日	2023/10/16 決算日
基準価額 (円)	8,859	8,878	8,659	12,695	16,453	15,516
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
基準価額騰落率 (%)	—	0.2	-2.5	46.6	29.6	-5.7
純資産総額 (百万円)	2,293	1,856	1,693	1,977	3,151	2,661

(注) 運用成果の目標基準となるベンチマークおよび運用方針に対し適切に比較できる参考指数はありません。

投資環境

<中東・北アフリカ株式市場>

当期のMENA（中東・北アフリカ）株式市場はまちまちとなりました。4月は米国物価指標の伸びが鈍化したことを受けて、FRB（米連邦準備理事会）の利上げ打ち止めが近いとの見方が強まるなか、原油価格は下落傾向となり、まちまちとなりました。5月、米国の債務上限問題や金融引き締め長期化観測などへの警戒感が高まるなか、全般的に低調となりました。前半は、米国景気の底堅さが示されたことや米国CPI（消費者物価指数）が予想を下回り、FRBは利上げサイクルの終了に近づいているという見方に拍車がかかったことに加え、原油価格が上昇するなか、上昇基調で推移しました。期後半にかけては、米国の好調な経済指標を受けて高金利長期化への観測が高まり長期金利が上昇するなか、リスクセンチメントが弱まり下落傾向となりました。その後も米欧で金融引き締め長期化観測が強まり長期金利が上昇し、米ドルも上昇するなか、軟調となりました。

<原油市場>

当期の原油価格は、前半は金融システム不安の再燃や中国景気に対する警戒感などから下落基調となりました。前半になると、サウジアラビアの減産継続や米国のインフレ圧力の低下などの環境下で上昇しました。中国の景気不振懸念などからやや下落する場面もありましたが、サウジアラビアが自主減産を年末まで継続することを発表したことや、米国での原油在庫の減少などを受け、需給ひっ迫への懸念が高まったことなどからその後も上昇基調が続いた後、期末にかけてはやや上値の重い展開となりました。

<為替市場>

MENA地域の大半の通貨は米ドルとの固定相場制です。当期の米ドル/円相場は、133円台で始まり、3月に広がった金融システム不安が後退し米ドルが買い戻される動きのなか、日銀が金融緩和維持の姿勢を明確に示したことも円安圧力となり、米ドルは強含みの展開が続きました。7月に入り米国のインフレ圧力の低下や景気後退懸念、さらには金融当局による市場介入に対する警戒感や日銀による金融政策修正への思惑が広がり円は反発しました。しかし、日銀による長短金利操作の運用柔軟化を受けても日本の長期金利は大きく上昇せず、一方米国では再びインフレ懸念の台頭や長期金利の上昇がみられたことで米ドルが再び上昇に転じ、その勢いそのまま149円台で当期末を迎えました。

<米国短期金融市場>

当期の米国の短期金融市場は、堅調な米国の雇用指標や金融引き締め長期化観測などから短期金利は上昇し、6月頃にはもみ合う場面もみられましたが、その後も底堅い米国景気や金融引き締め長期化観測などから上昇基調で推移し、期後半はおおむね横ばい傾向となりました。

ポートフォリオ

<当ファンド>

当ファンドは、主としてルクセンブルク籍の外国投資法人「Amundi Funds エクイティMENA」への投資を通じて、中東・北アフリカ諸国で事業展開を行う企業の株式等に分散投資を行い、投資信託財産の中長期的な成長を図ることを目標として運用を行いました。なお、ルクセンブルク籍の外国投資法人「Amundi Funds キャッシュ・USD」にも投資しました。

(アムンディ・ジャパン株式会社)

<Amundi Funds エクイティ MENA>

当期、UAE（アラブ首長国連邦）の金融や不動産のエクスポージャーを拡大した一方、クウェートのエクスポージャーやサウジアラビアの金融のエクスポージャーを削減しました。国別配分ではサウジアラビアなどをオーバーウェイトとした一方、エジプトやモロッコなどをアンダーウェイトとしました。また、セクター配分では、サウジアラビアの情報技術やUAEの不動産などをオーバーウェイトとした一方、サウジアラビアの公益事業やUAEのコミュニケーション・サービスなどをアンダーウェイトとしました。

(アムンディ・アセットマネジメント)

<Amundi Funds キャッシュ・USD>

主として米ドル建ての短期金融商品等に投資し、運用資産の着実な成長と安定した収益の確保を図ることを目標として運用を行いました。

(アムンディ・アセットマネジメント)

ベンチマークとの差異

当ファンドは運用成果の目標基準となるベンチマークを設けておりません。また、当ファンドと適切に対比できる参考指数はありません。

分配金

収益分配金につきましては、基準価額水準および市況動向等を勘案した結果、見送りとさせていただきます。なお、収益分配に充てず、信託財産内に留保した収益については、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳

(単位：円・1万口当たり・税込み)

項目	第31期
	(2023年4月18日～2023年10月16日)
当期分配金	—
(対基準価額比率)	(—%)
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	7,325

・「対基準価額比率」は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。

・「当期の収益」「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

今後の運用方針

<当ファンド>

当ファンドは、引き続き、主としてルクセンブルク籍の外国投資法人「Amundi Funds エクイティ MENA」への投資を通じて、主として中東・北アフリカ諸国で事業展開を行う企業の株式等に分散投資を行い、投資信託財産の中長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。なお、ルクセンブルク籍の外国投資法人「Amundi Funds キャッシュ・USD」にも投資を行います。

(アムンディ・ジャパン株式会社)

<Amundi Funds エクイティ MENA>

OPECプラス（石油輸出国機構および非加盟産油国）による減産などを背景に原油価格は上昇しているものの、現在減産を進めれば進めるほど、その後の生産能力の増強が見込まれることから、持続的な価格上昇の可能性は低いと考えます。しかしながら、MENA株式市場は高水準のエネルギー価格から引き続き恩恵を受けるとみています。そのため当ファンドは、MENA株式に対して前向きな見通しを持っています。ただし、原油価格の動向、地政学的な緊張、FRBの政策についても、引き続き注視してまいります。

(アムンディ・アセットマネジメント)

<Amundi Funds キャッシュ・USD>

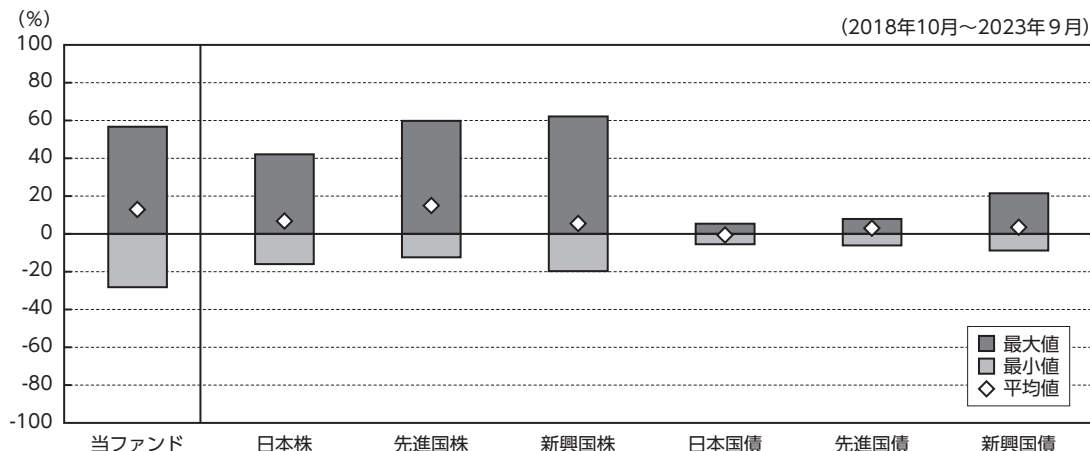
主として米ドル建ての短期金融商品等に投資し、運用資産の着実な成長と安定した収益の確保を図ることを目標として運用を行います。

(アムンディ・アセットマネジメント)

ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2008年1月31日から無期限です。	
運用方針	「Amundi Funds エクイティ MENA」への投資を通じて、主として中東・北アフリカ諸国で事業展開を行う企業（中東・北アフリカ諸国の企業を含みます。）の株式等へ分散投資を行い、投資信託財産の中長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。なお、「Amundi Funds キャッシュ・USD」への投資も行います。原則として実質的に組み入れる外貨建資産の為替ヘッジは行いません。	
主要投資対象	アムンディ・アラブ 株式ファンド	Amundi Funds エクイティ MENA Amundi Funds キャッシュ・USD
	Amundi Funds エクイティ MENA	中東・北アフリカ諸国で事業展開を行う企業の株式等
	Amundi Funds キャッシュ・USD	米ドル建短期金融商品等
運用方法	<p>①「Amundi Funds エクイティ MENA」への投資を通じて、主として中東・北アフリカ諸国で事業展開を行う企業の株式等へ分散投資を行い、投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。</p> <p>②「Amundi Funds エクイティ MENA」の組入比率は、原則として高位を保ちます。</p> <p>③原則として実質的に組み入れる外貨建資産の為替ヘッジは行いません。</p>	
分配方針	<p>毎決算時（年2回。原則毎年4月15日および10月15日。休業日の場合は翌営業日）に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。分配対象額の範囲は繰越分も含めた経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。収益分配額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。</p>	

当ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較



当ファンドと他の代表的な資産クラスの平均騰落率、年間最大騰落率及び最小騰落率

(%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	12.9	6.8	15.0	5.5	-0.6	3.0	3.5
最大値	56.7	42.1	59.8	62.1	5.4	7.9	21.5
最小値	-28.2	-16.0	-12.4	-19.7	-5.5	-6.1	-8.8

(注1) 上記は、当ファンドと他の代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

(注2) 上記は、2018年10月から2023年9月の5年間の各月末における直近1年間騰落率の平均値・最大値・最小値を、当ファンド及び他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCIコクサイ・インデックス (税引後配当込み、円ベース)

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス (税引後配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド (円ベース)

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。

- ・全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- ・当ファンドは、分配金 (税込み) が分配時に再投資されたものとみなして計算した年間騰落率に基づき計算されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。
- ・騰落率は直近月末から遡って算出した結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容

組入ファンド

2023年10月16日現在

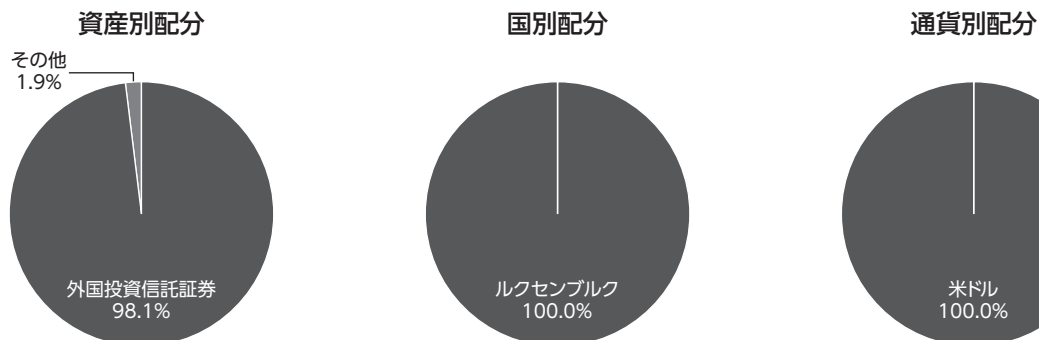
(組入銘柄数：2銘柄)

	銘柄	通貨	比率
1	Amundi Funds エクイティ MENA	米ドル	97.5%
2	Amundi Funds キャッシュ・USD	米ドル	0.7%

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されております。

種別構成



(注1) 資産別配分の比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 国別配分および通貨別配分の比率は、ポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注3) 比率は、小数点以下第2位を四捨五入しております。

純資産等

項目	第31期末 2023年10月16日
純資産総額	2,661,230,564円
受益権総口数	1,715,200,914口
1万口当たり基準価額	15,516円

※当期間（第31期）中における追加設定元本額は132,884,804円、同解約元本額は244,959,350円です。

組入ファンドの概要

<Amundi Funds エクイティ MENA>

決算日：2023年6月30日

(計算期間：2022年7月1日～2023年6月30日)

「基準価額の推移」は組入シェアクラスの内容ですが、他の開示情報につきましては、組入ファンド全体の内容を掲載しています。

基準価額の推移（組入シェアクラス）



組入上位10銘柄

2023年6月30日現在

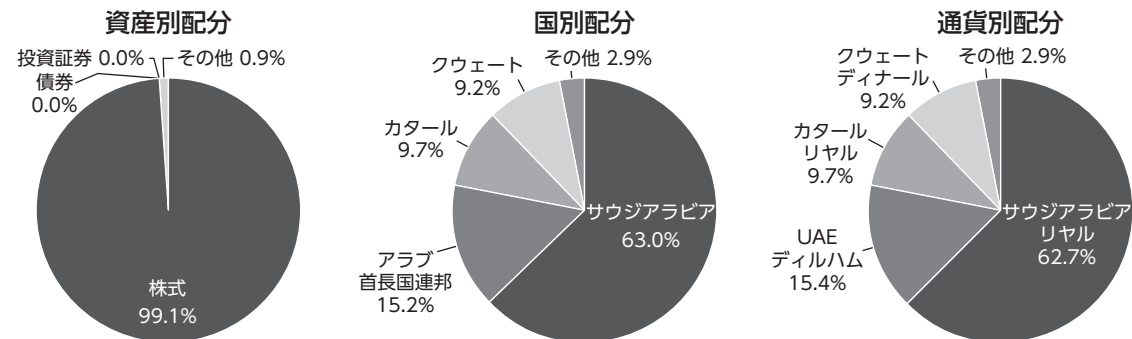
(組入銘柄数：88銘柄)

	銘柄	通貨	発行国	比率
1	AL RAJHI BANK	サウジアラビアリヤル	サウジアラビア	7.5%
2	THE SAUDI NATIONAL BANK	サウジアラビアリヤル	サウジアラビア	7.5%
3	ALINMA BANK	サウジアラビアリヤル	サウジアラビア	4.3%
4	KUWAIT FINANCE HOUSE	クウェートディナール	クウェート	3.7%
5	SAUDI BASIC INDUSTRIES CORP	サウジアラビアリヤル	サウジアラビア	3.3%
6	SAUDI TELECOM	サウジアラビアリヤル	サウジアラビア	3.3%
7	EMAAR PROPERTIES REIT	UAEディルハム	アラブ首長国連邦	3.3%
8	NATIONAL BANK OF KUWAIT	クウェートディナール	クウェート	3.0%
9	ALDAR PROPERTIES	UAEディルハム	アラブ首長国連邦	2.5%
10	ELM COMPANY	サウジアラビアリヤル	サウジアラビア	2.4%

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されております。

種別構成



(注1) 資産別配分の比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 国別配分および通貨別配分の比率は、ポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注3) 比率は、小数点以下第2位を四捨五入しております。

1万口当たりの費用明細

該当情報の取得ができないため、掲載はしていません。

組入ファンドの概要

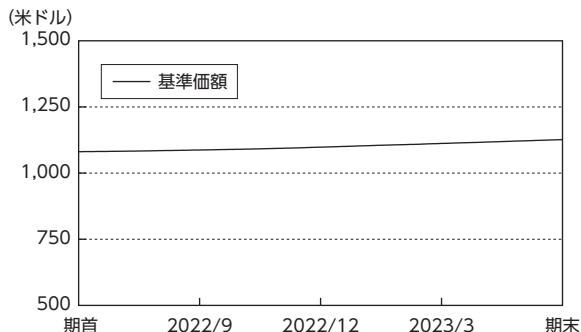
<Amundi Funds キャッシュ・USD>

決算日：2023年6月30日

(計算期間：2022年7月1日～2023年6月30日)

「基準価額の推移」は組入シェアクラスの内容ですが、他の開示情報につきましては、組入ファンド全体の内容を掲載しています。

基準価額の推移（組入シェアクラス）



組入上位10銘柄

2023年6月30日現在

(組入銘柄数：86銘柄)

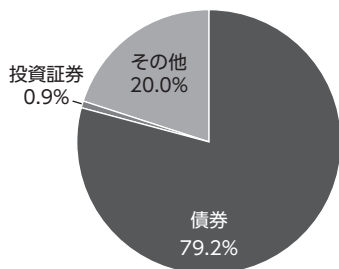
	銘柄	通貨	発行国	比率
1	ELECTRICITE DE FRANCE ZCP 24/07/2023	米ドル	フランス	2.4%
2	MACQUARIE BANK LTD SOFR+0.50% 04/12/2023	米ドル	オーストラリア	1.7%
3	SKANDINAVISKA ENSKILDA BK SOFR+0.45% 03/10/2023	米ドル	アメリカ	1.7%
4	ABN AMRO BANK NV CDN 11/07/2023	米ドル	オランダ	1.7%
5	RECKITT BENCKISER TREAS SVCS ZCP 24/07/2023	米ドル	イギリス	1.7%
6	ENEL FIN AMER LLC ZCP 06/09/2023	米ドル	アメリカ	1.7%
7	ING BANK ZCP 23/01/2024	米ドル	オランダ	1.7%
8	MIZUHO BANK LTD CDN 22/09/2023	米ドル	オーストラリア	1.5%
9	BANK OF NOVA SCOTIA VAR 15/09/2023	米ドル	カナダ	1.4%
10	BANK OF MONTREAL VAR 15/09/2023	米ドル	カナダ	1.4%

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

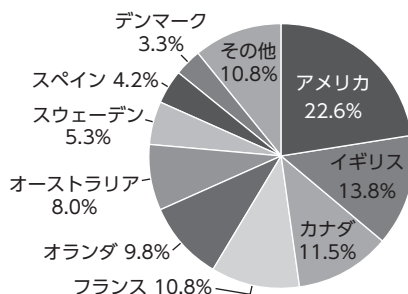
(注2) 全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されております。

種別構成

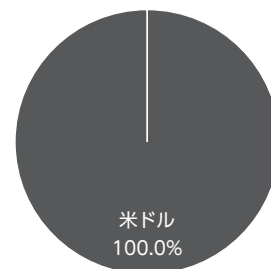
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 資産別配分の比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 国別配分および通貨別配分の比率は、ポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注3) 比率は、小数点以下第2位を四捨五入しております。

1万口当たりの費用明細

該当情報の取得ができないため、掲載はしていません。

指数に関して

◇「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

●東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。TOPIXの指数値およびTOPIXにかかる標章または商標は、株式会社J P X総研または株式会社J P X総研の関連会社（以下「J P X」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウおよびTOPIXにかかる標章または商標に関するすべての権利はJ P Xが有します。J P Xは、TOPIXの指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。本商品は、J P Xにより提供、保証または販売されるものではなく、本商品の設定、販売および販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJ P Xは責任を負いません。

●MSCIコクサイ・インデックス（税引後配当込み、円ベース）

MSCIコクサイ・インデックスとは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有します。

●MSCIエマージング・マーケット・インデックス（税引後配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックスとは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有します。

●NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債とは、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社（以下「NFRFC」という。）が公表する、国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数です。同指数の知的財産権とその他一切の権利はNFRFCに帰属します。

●FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）とは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

●JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド（円ベース）

JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイドとは、J.P.Morgan Securities LLCが算出し公表している、現地通貨建のエマージング・マーケット債で構成されている指数です。同指数の著作権はJ.P.Morgan Securities LLCに帰属します。

Amundi
ASSET MANAGEMENT
アムンディ アセットマネジメント